

2年進級時からのコース分け実施について（2021年度入学生用）

電気電子工学科（E科）では、2年進級時からは全員が分野別コースを選択し、その分野をより深く専門的に学修する。分野別コースには、①電気系コース、②情報系コース、および③電気・通信システム総合コースの3つのコースがある。このコース分けを1年次末に実施する。2年次から卒業までは、途中でのコース変更は原則できないので各コースの特徴を十分理解して選択する必要がある。

1. 各コースの特徴

E科の学習・教育到達目標のうち、コースによって異なる目標は「専門知識の習得・応用能力」に関する項目のみで、次の通りである。

- ① 電気系コース：電気・電子工学の専門知識を修得し、エネルギーやエレクトロニクス分野などにおける課題解決に活用できる。
- ② 情報系コース：情報工学の専門知識を修得し、情報システムやエレクトロニクス、通信ネットワーク分野などにおける課題解決に活用できる。
- ③ 電気・通信システム総合コース：電気・通信工学の専門知識を修得し、電力・通信インフラ関連分野などにおける課題解決に活用できる。

2. 進級及び卒業要件

各コースとも進級・卒業要件の単位数は同じであるが、専門科目について、各コースで修得すべき科目および、卒業に必要な単位数が次のように指定されている。

- ① 電気系コース
 - (1) 専門基礎群の科目から11単位以上を修得。
 - (2) 専門コア群共通系科目の「電気回路Ⅱ」「電磁気学Ⅱ」を修得。
 - (3) 専門コア群電気系の科目から「電気工学演習」の1単位を含む10単位以上修得。
 - (4) 少人数教育群演習実習系科目の「電気系実験Ⅰ」「電気系実験Ⅱ」を修得。
- ② 情報系コース
 - (1) 専門基礎群の科目から11単位以上を修得。
 - (2) 専門コア群情報系の科目から「情報工学演習」の1単位を含む10単位以上を修得。
 - (3) 少人数教育群演習実習系科目の「情報系実験Ⅰ」「情報系実験Ⅱ」を修得。
- ③ 電気・通信システム総合コース
 - (1) 専門基礎群の「微積分Ⅰ」「線形代数Ⅰ」を修得。
 - (2) 専門基礎群の「微積分Ⅱ」「線形代数Ⅱ」「電気数学Ⅰ」「電気数学Ⅱ」から1科目以上を修得。
 - (3) 専門基礎群科学系科目から3単位以上を修得。
 - (4) 専門コア群の科目から以下の要件を含み54単位以上を修得。
 - ア 「電気回路Ⅱ」「電磁気学Ⅱ」「技術者倫理」「電気工学演習」を修得。
 - イ 「電気法規及び施設管理」または「電波法規」を修得。
 - ウ 電気系と通信系の2つの系の科目から20単位以上を修得。

(5) 少人数教育群演習実習系科目の「電気系実験Ⅰ」「電気系実験Ⅱ」を修得。

3. コース選択での注意事項

- (1) 2年進級時に選択・決定したコースの変更は卒業まで原則認められない。
- (2) 電気系コースは電気・電子工学を中心として関連する分野を、情報系コースは情報工学を中心として関連する分野をそれぞれ学修する。一方、電気・通信システム総合コースは、電気工学と通信工学の2つの分野にまたがって科目を修得する必要がある。したがって、電気・通信システム総合コースを選択する場合は、異なる2つの分野ともに興味があるだけでなく、多少不得意な科目でも学修する強い意志があることが要求される。
- (3) コース選択に当たっては、履修申請要領によりコース別の履修科目や進級・卒業要件を理解しておくこと。また、履修申請要領の履修モデルも参考にすること。さらに、Webシラバスにより4年次までの授業科目の内容を把握しておくこと。
- (4) 保護者ともよく相談して、選択するコースについて了解を得ておくこと。

4. コース選択の手続きとスケジュール

- (1) コース選択説明会（1月中旬）
 - ・各コースの特徴を理解する。
 - ・コースで指定された授業科目とその内容を履修申請要領やシラバス等でよく調べる。
 - ・配布する「コース選択予備申請書」を成績交付日までに記入する。
 - ・選択に当たっては保護者とも十分に相談する。
- (2) 成績交付日（2月末～3月上旬、成績交付日時は周知する）
 - ・成績交付時に指導担当教員に「コース選択予備申請書」のコピーを提出する。各自コピーをとっておく。
 - ・指導担当教員と面談し、選択するコースについてアドバイスを受ける。
 - ・面談時に配布する「コース選択確定申請書」を次年度履修ガイダンス日までに記入する。
 - ・「コース選択確定申請書」には保護者の署名も貰っておく。各自コピーをとっておく。
- (3) 次年度履修ガイダンス（3月下旬）
 - ・「コース選択確定申請書」を提出してコース選択の手続きが完了する。
 - やむなく履修ガイダンスを欠席した者は、3月末までにE科共通準備室に「コース選択確定申請書」を提出する。
 - ・次年度の履修申請では、「コース選択確定申請書」で提出したコースで修得する科目を間違いなく申請する。

5. その他

コース分けに関して不明な点や質問があれば、E科学科長あるいは指導担当教員に問い合わせること。

以上

3年進級時におけるコース変更について

2年進級時に確定したコースの変更は原則認められないが、2年次の後期成績交付後に所定の様式による申請により変更が認められることがある。

1. 電気系コースから情報系コースへ、あるいはその逆の場合

保護者の承諾を得た上で、2月末～3月上旬に行われる後期成績交付時に指導担当教員と面談し、指導担当教員の承認後、コース変更申請書を学科長に提出し学科長の承認を得た場合、コース変更が認められる。

2. 電気・通信システム総合コースから他のコースへ、あるいはその逆の場合

保護者の承諾を得た上で、2月末～3月上旬に行われる後期成績交付時に指導担当教員と面談し、指導担当教員の承認後、コース変更申請書を学科長に提出し、その内容が電気電子工学科教育改善委員会で承認された場合のみ、コース変更が認められる（電気・通信システム総合コースから電気系コースへの変更の場合のみ、3年次の前期成績交付時にも認められることがある）。

※注意事項

コース変更申請は一人1回限りである。卒業要件のうち、専門科目の履修方法がコース毎に異なるため、コース変更申請に際し、コース変更後の専門科目に関する履修計画を念入りに検討して立案すること。コース変更申請書は、2年後期成績交付時に指導担当教員から受け取り、指導担当教員と十分相談した上で記入すること。コース変更申請書は、後期成績表交付日から1週間以内に提出しなければならないので注意すること。
コース変更が認められた場合は、指導担当教員より本人に連絡する。

編入学生のコース選択について

3年次編入または転学部・転学科した者のコース選択については、既修得単位の読み替え認定科目の単位数を考慮して、希望コースの残りの必要単位を無理なく修得できる見込みがあるかどうか、本人と学科長および指導担任教員との相談の上決定する。

2年次からのコース分け実施について

電気電子工学科では、2年次からは全員が分野別コースを選択し、その分野をより深く専門的に学習する。分野別コースには、①電気電子コース、②情報通信コース、および③電気・通信システム総合コースの3つのコースがある。このコース分けを1年次末に実施する。2年次から卒業までは、途中でのコース変更は原則できないので各コースの特徴を十分理解して選択する必要がある。

1. 各コースの特徴

E科の学習・教育到達目標のうち、コースによって異なる目標は「専門知識の習得・応用能力」に関する項目のみで、次の通りである。

- ① 電気電子コース：電気電子工学の専門知識を修得し、エネルギーやエレクトロニクス分野における課題解決に活用できる。
- ② 情報通信コース：情報通信工学の専門知識を修得し、情報処理やネットワーク分野における課題解決に活用できる。
- ③ 電気・通信システム総合コース：電気電子・情報通信工学の幅広い専門知識を修得し、電気系技術分野における課題解決に活用できる。

電気・通信システム総合コースは、JABEE（日本技術者教育認定機構）認定プログラムであり、本コース修了生は技術士の第1次試験が免除され、卒業後、申請により技術士補の資格を得ることができる。

2. 専門コア群の進級及び卒業条件

各コースとも進級・卒業要件の単位数は同じであるが、専門コア群の科目は、各コースで修得すべき科目および、卒業に必要な単位数が次のように指定されている。

各コースとも専門コア群の選択科目・選択必修科目から51単位以上修得し、その内、

- ① 電気電子コース：電気設備系および電子応用系から20単位以上修得。
- ② 情報通信コース：情報処理系、通信基礎系および通信設備系から20単位以上修得。
- ③ 電気・通信システム総合コース：電気設備系および通信設備系から「電気法規及び施設管理」または「電波法規」のいずれかを含む20単位以上、および共通系の「技術者倫理」を含む。

3. コース選択での注意事項

- (1) 2年次に選択・決定したコースの変更は卒業まで原則認められない。
- (2) 電気電子コースや情報通信コースは、それぞれのコース内において修得すべき科目は近い関係にあり、比較的修得しやすい。一方、電気・通信システム総合コースは、電気電子と情報通信の2つの分野にまたがって科目を修得する必要がある。したがって、電

気・通信システム総合コースを選択する場合は、異なる2つの分野ともに興味があるだけでなく、多少不得意な科目でも学習を継続できる強い意志があることが要求される。

- (3) コース選択に当たっては、履修申請要領によりコース別の履修科目や進級・卒業要件を理解しておく。さらに、Webシラバスにより4年次までの授業科目の内容を把握しておく。
- (4) 保護者ともよく相談して、選択するコースについて了解を得ておくこと。

4. コース選択の手続きとスケジュール

(1) コース選択説明会（1月中旬）

- ・各コースの特徴を理解する。
- ・コースで指定された授業科目とその内容を履修申請要領やシラバス等によく調べる。
- ・配布する「コース選択予備申請書」を成績交付日までに記入する。
- ・選択に当たっては保護者とも十分に相談する。

(2) 成績交付日（2月末～3月上旬、成績交付日時は周知する）

・成績交付時に指導担当教員に「コース選択予備申請書」を提出する。各自コピーをとっておく。

- ・指導担当教員と面談し、選択するコースについてアドバイスを受ける。
- ・面談時に配布する「コース選択確定申請書」を次年度履修ガイダンス日までに記入する。

- ・「コース選択確定申請書」には保護者の署名も貰っておく。各自コピーをとっておく。

(3) 次年度履修ガイダンス（3月下旬）

- ・「コース選択確定申請書」を提出してコース選択の手続きが完了する。
やむなく履修ガイダンスを欠席した者は、3月末までにE科共通準備室に「コース選択確定申請書」を提出する。
- ・次年度の履修申請では、「コース選択確定申請書」で提出したコースで修得する科目を間違いなく申請する。

5. その他

コース分けに関して不明な点や質問があれば、E科学科長あるいは指導担当教員に問い合わせること。

以上

3年次におけるコース変更について

1年次末に確定したコースの変更は原則認められないが、3年次の前期成績交付後に所定の様式による申請により変更を認めることがある。

1. 電気電子コースから情報通信コースへ変更する場合、あるいはその逆の場合

保護者の承諾を得た上で、9月に行われる前期成績交付時に指導担当教員と面談し、担当教員の承認後、コース変更申請書を学科長に提出し学科長の承認を得た場合、コース変更が認められる。

2. 電気・通信システム総合コースから他のコースへ変更する場合

保護者の承諾を得た上で、9月に行われる前期成績交付時に指導担当教員と面談し、担当教員の承認後、コース変更申請書を学科長に提出し、その内容が、電気電子工学科教育改善委員会で承認された場合のみ、コース変更が認められる。

※注意事項

コース変更申請書は、3年前期成績交付時に指導担当教員から受け取り、担当教員と十分相談した上で記入すること。コース変更申請書は、前期成績表交付日から後期授業開始までの間に提出しなければならないので注意すること。

コース変更が認められた場合は、担当教員より本人に連絡する。

編入学者等のコース選択について

編入学者、転学部者、転学科者等の単位認定は、学則第21条「入学者の既修得単位等の取扱い」および理工学部教授会申し合わせ（2018年6月11日教授会改正承認）「編入学者等に係る単位・在学年数の認定要領」に基づき、学科長と教務担当者が行う。編入学者等が電気・通信システム総合コースを選択した場合、出身学校もしくは出身学部、学科に成績評価の根拠資料の提出を依頼し、それを確認した上で単位認定を行う。

3月末の単位認定科目確定後に指導担当教員が、コース選択予備申請書とコース選択確定申請書の作成方法の指導を行い、コース選択に関するアドバイスをを行う。コース選択確定申請書は4月の履修申請までに指導担任教員へ提出する。